

第2次静岡市生物多様性地域戦略(案) パブリックコメントの結果【自由記載欄の項目別一覧表(問3)】

資料3

1. 意見募集期間 令和2年11月24日(火)～令和2年12月24日(木) 2. 意見募集結果 (1)意見提出者数 190人 (2)意見提出件数 813件 (内 自由記載欄138件)

<意見の内訳>

大項目	中項目	小項目	件数	主な意見の要旨
計画全体	市政全般	生物多様性全般	7	・広報はネットを中心にしてほしい(ただし、高齢者向けイベントなら新聞やテレビ) ・企業、学校、地域、市民活動団体など、様々な主体、ステークホルダーと話し合い連携して取り組んでもらいたい
	生物多様性全般	成果指標	2	・計画上に数値目標を記載してほしい
		その他	1	・これまでの活動の評価がされていないのではないか
	説明・用語	その他	2	・「リーディングプロジェクト」「PDCA」など横文字が多いので、できるだけ日本語にしてほしい ・SDGsのマークの文字が小さくて見にくい
戦略1 「生息・生育場所を守る」	1-1 生きものの生息・生育場所を守る	保全活動	3	・蛍、アサギマダラ、カジカガエルなどの生物を保護し増殖する指導をしてほしい ・建築の際に生きものの住処が奪われないよう、市には、野生生物の保全に力を注いでほしい
		自然と触れ合う場所	1	・生きものや植物、昆虫、鳥、動物などがのびのびと生き活動する場所と、その姿を見れる設備があったら嬉しい
		南アルプス	1	・南アルプスの自然についての講演に参加したい
	1-2 自然と居住の境界の環境保全	里地里山	10	・竹林整備団体の情報交流会を開催してほしい ・自然環境の保全を実施しているグループと環境学習を行っているグループ、専門家等をつなぐ役割を担ってほしい
		その他	1	・エリアごと、そこに住んでいる生きものの情報が載っている看板を設置してほしい
	1-3 外来種の把握・防除	理解促進・啓発活動	1	・市の音頭で駆除作業を行うことで地域住民が外来種について知ることができ、環境保全活動への参加意識を高めることができる
		外来種	1	・外来生物の駆除をやってほしい
	環境教育	2	・市民参加で在来種を守る運動を、子どもたちの学校教育のカリキュラムに含めてはどうか ・外来種の侵入や環境の変化などの調査の際に外の物が入り込まないように対処していることを教わったり体験してみたい	
2-1 まちなかでの自然触れ合い	イベント全般	7	・今後、ハーバリウムやアクセサリー作りをやってみたい ・社会人や大学生が参加できるようなイベントがあるとよい	
	自然体験	4	・毎週末どこかで「多様性」を感じられる何らかのイベントがあればよいと思う ・県外や他市から来た子どもを“おもてなし”する場所として、自然館など子どもが集まれる常設ハウスをつくってほしい	
	その他	2	・まちなかでの自然と触れ合うには、身近な小川を有蓋U字溝にしないなどの配慮・工夫が必要 ・お堀の周りの水について、鯉など他の種類の魚がもっと見えるようにしてほしい	

大項目	中項目	小項目	件数	主な意見の要旨
戦略2 「活動のきっかけをつくる」	2-2 自然の中での健康的な活動機会	保全活動	4	<ul style="list-style-type: none"> ・年配の人が関われる、身近な小さなことがあれば教えてほしい ・外からの移住者やIターンの受け入れも自然環境の担い手を増やすきっかけとしてであると嬉しい
		イベント全般	17	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活でできないことができるイベントに参加したい ・子ども達も楽しめるよう、アウトドア系(キャンプなど)のイベントがあるとよい
		自然体験	7	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で楽しくアクティビティをやりたい(清掃→食事→サッカーなどの動きを取り入れた遊び) ・高校、短大、大学のワンゲル、ハイキング、山岳部等でのコース整備や小学生親子エスコートなどをやってみてはどうか
		里地里山	3	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な山の散策イベントで、散策しながら様々な動植物の生態や、里山の持続性の懸念について解説をしてほしい ・増えていく竹林をどうしたらよいかを住民として取り組んでいく事が大切だと思うので、それを学べる場所、イベント等があればいいと思う
	2-3 身近な緑地の保全	保全活動	2	<ul style="list-style-type: none"> ・植林と併せ、花や畑等、短期的に成果がわかる植物の手入れ等があると参加しやすい ・北部図書館付近にある水辺の散策路をもとのきれいな状態に戻すため、市がコーディネートしてボランティアグループなどつくってはどうか
戦略3 「活動を継続する」	3-1 幼児期からの環境教育	環境教育	14	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビでも活躍されているキーパーソンとなる人を起用して、その方に講座など開いてもらえば親子ともたの興味も湧くと思う ・授業の中で、実際に自然にふれあうなどして環境を学べる機会があれば、子ども達の印象にも残る
		イベント全般	2	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と協働して行える環境イベント(親しみやすい内容)を実施してはどうか ①どんぐりごまなど、自然の植物を取り入れたエコ遊び体験 ②動物園などで生きものを通じて環境問題の現状を知る事のできるツアー
		自然体験	7	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に向けて、地域の方に自然物を使った遊びを教えていただくなどして、地域の自然に親しめる場があるとよい ・本市の貴重なフィールドを活用し、幼児期から様々な場所で、方法で、様々な自然や生きものとふれあえることを期待している
	3-2 生物多様性情報の共有	理解促進・啓発活動	13	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から探さなくても自然と目に入ってしまうような形で、自然や生物に関する情報を発信できたら多くの人が興味を持てるようになる ・活動されている人とオンラインで話せる機会など、情報発信を市民を巻き込むようにするとさらに活動が広がると思う
		自然体験	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園、庭園の情報を知りたい ・自然の中でキャンプできる情報を知りたい
		イベント全般	1	<ul style="list-style-type: none"> ・環境イベント情報が様々な世代に伝わるように、SNS等の活用をしていく必要がある
		その他	2	<ul style="list-style-type: none"> ・市内「ここにしかない自然・風景100選」を実施してはどうか ・各地区の活動状況を広報したらどうか
戦略4 「生物多様性を評価する」	4-1 多様性評価のための指標整備	生きもの調査	5	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所に生息する生きもののマップ作り ・アプリや紙を利用し、駿府城公園内などでゲーム感覚で楽しめる生きもの調査を実施したらよいと思う
	4-3 行動(ライフスタイル)の転換	理解促進・啓発活動	7	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に取り組むことで、どれだけの効果があるのか示してほしい ・生物多様性の認知度向上を目指してほしい(例)ネットで「〇〇検定」、生物多様性ポスターコンクール、生物多様性作文コンクールなど
パブリックコメント	その他	サブタイトル	2	<ul style="list-style-type: none"> ・サブタイトルをそのまま正式名称で使うぐらいでもよい ・「第2次静岡市生物多様性地域戦略」という名前が難しすぎるので、サブタイトルは単純なものがいい
		その他	3	<ul style="list-style-type: none"> ・募集が2件ありわかりにくいので、市が聞きたい主旨を明確にして依頼すること ・「生物多様性」を多くの人々に知ってもらうためにはどうしたらいいのかパブリックコメントを通じて考えることができ、とてもいい機会だった
その他	その他	その他	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は遊水地にメダカは生息していないと思う ・夜間の地域の見直し(巡回してみる)をしてはどうか